

児童発達支援事業所における自己評価結果

公表:令和 6年 3月 31日

事業所名 リンク大和駅前教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4		体を動かす際はフロア(広いスペース)を使用するなど部屋を使い分けている。	
	2	職員の配置数は適切である	4			
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	3	1	お子様の特性に合わせて、活動部屋のレイアウトや椅子・机の位置を職員と話し合い、調整している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	4		朝の清掃・定期の巡回を実施し、乱れている箇所を修正している。療育ごとに喚起や清掃など行い、気温・湿度設定などもこまめに行っている。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3	1	毎月面談が実施され、各職員が意見を伝える機会設けられている。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4		保護者様のご要望など職員間で共有し、その都度対策を立てている。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	2	2		
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		4		第三者評価は未実施のため、今後検討していく。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4		動画視聴での研修や各専門職の内部研修を行っている。研修に対し、積極的な参加を奨励されている。	
適切な支援	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	4		アセスメントや毎回の療育(フィードバック含む)をもとに、各職員で意見を出し合い、計画書を作成している。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4			
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	4		お子様を取り巻く環境(ご家庭・園での生活)を考慮して支援内容を設定している。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	4		常に計画書を見直し、計画に沿った支援を心がけている。職員間で支援についてこまめに話し合っている。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	3	1	会議にて、各職員の意見を尊重し、話し合い、立案に反映させている。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
の提供	15			常にプログラムを見直し、修正・改善を心がけている。	
	16	4			個別療育に特化している為、集団活動はしていないが、園・学校での様子を聴き取り、集団で適応できる事を提案していく。
	17	4		朝礼にて、各職員が報告・確認し合っている。	
	18	3	1	終礼にて、振り返りや次の日の予定など共有している。	
	19	4		各職員が責任をもって記録を行い、児発管がチェックしている。	
	20	4		変化点など担当者・児発管と話し合っている。支援計画内容の見直しの必要性を適宜検討している。	
関係機関や保護者との連携	21	4		担当職員と児童発達支援管理責任者と話し合いを持ったうえで、相談支援専門員と共有している。	
	22	2	2	広報誌を関係機関に毎月配布している。適宜情報共有を行っている。	
	23		4		医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援していない。
	24		4		現状、医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等のご利用がない。
	25	3	1	必要に応じて支援内容などの情報共有を図っている。	
	26	1	3		
	27	3	1	児童発達支援部会に参加し、助言や研修を受けている。	
	28	1	3		
	29	4		児発管が定期的に参加している。	
	30	4		フィードバックを大切に、保護者様から家庭の様子など伺い、課題に取り入れている。	常に支援の意図と保護者様のニーズを照らし合わせ、共通理解を促す。
	31	2	2	フィードバックの中で、ご家庭でも取り組めることなど提案している。	
32	4		契約時に説明を行っている。		
33	4		契約時・更新時に児童発達支援管理責任者から説明している。		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4		療育後に保護者へのフィードバックを実施している。児発管が日々お声かけを行い、場合によっては相談支援も勧めている。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		4		今後、保護者様同士の交流を図り、お互いに意見を伝え合う(一緒に考える)機会を作っていく。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	4		保護者とのフィードバック時に相談があった際は、すぐに管理者へ報告を行っている。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4		広報誌での発信や法改正・職員体制が変更する際には保護者に周知している。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	4			
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	2		
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	3	1	避難訓練マニュアルを1年に2回確認している。	防犯対策も今後必要。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	3	1		
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	3	1	アセスメントシートに記入し、共有している。あらかじめ保護者様から情報提供していただく	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	1	アセスメントシートに情報共有している。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4		毎月の定例会議で共有している。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4		新任職員研修で実施。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	4			

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。